

# LITHON

<http://www.lithon.co.jp>



## ライソンスNSインフォメーション



製品情報・プレゼントキャンペーンなど随時更新中！

フォローをお願いします！



製品の使い方・使用イメージ  
動画など随時更新・配信中！

チャンネル登録をお願いします！



新製品紹介やキャンペーンの告知、  
友だち限定の情報をお届け！

友だち登録をお願いします！

Bluetooth送受信機 TR-10

## 取扱説明書

### もくじ

- 安全にお使いいただくために…P.2～3
- 使用方法③受信 … P.10～12
- セット内容・各部名称 …… P.4
- 使用方法④その他 …… P.12
- 操作ボタン表 …… P.4
- 故障かな？と思ったら…P.13
- 使用方法①基本操作 …… P.5
- テクニカルデータ …… P.14
- 使用方法②送信 …… P.6～9
- 保証書 …… P.15



日本国内専用

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,INC.が所有する登録商標であり、ライソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

検索デバイス名

**LITHON TR-10**

※本機はBluetooth®対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。機器によっては使用できない場合もございます。ご了承ください。

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。



最新情報は弊社公式サイトよりご確認ください。

<https://www.lithon.co.jp/product/audivisual/kabt010>

(2023年5月 改訂)

## 安全にお使いいただくために

### ご使用前に必ずお読みください。

この説明書には、ご使用になる方やその周辺にいる方々や物への危害や損害を未然に防ぐためのお守りいただきたい事項を記載しています。製品を安全にご使用いただくために内容を十分にご理解いただきますようお願いいたします。

#### 警告

下記事項を守らなかった場合、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

- 煙が出たり、異臭、異音が生じたら、すぐに使用を中止し、電源を切ってください。
- 分解や改造をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。
- 水のかかる場所や、ぬれた手で充電しないでください。感電や故障の原因になります。
- 心臓ペースメーカーや医療機器などの近くでは、医師に相談の上で使用してください。

#### 注意

下記事項を守らなかった場合、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。

- 本機を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本機はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 高温・多湿・直射日光のある場所での使用・保管はしないでください。製品の劣化・故障の原因になります。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 医療機器や人命に直接的または間接的にかかわるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
- 飛行機の中では使用しないでください。通信システムを妨害する恐れがあります。
- 使用しない時は本製品の電源をお切りください。
- 本機は防水加工は施されておりません。水気のある場所での使用・保管はしないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。
- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書の指示に従ってください。本製品は、スマートフォンなどと無線通信による使用が可能です。接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。
- 布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。熱によって変形し、火災の原因になることがあります。
- 子どもや乳幼児の手の届く場所での保管・使用はお避けください。

### Bluetoothについて

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けているので、無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  - 本機を分解・改造すること
  - 本機に貼ってある(プリントされている)証明ラベル(マーク)をはがす(削り取る)こと
- 本機は2.4GHz帯域の電波を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意して使用してください。

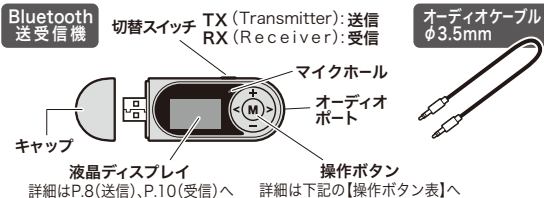
本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局やアマチュア無線局、免許を要さない特定小電力無線局などが運用されています。

- ① 本機を使用する前に、近くで無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。

- 本機の通信距離は最大約10mですが、磁場や静電気・電波障害が発生する場所や、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近く、壁や障害物の影響によって、通信が安定せずに接続が途切れたりすることがあります。
- 対応するBluetooth機器であっても、動作しない時があります。
- 磁場や静電気、電波障害によって、雑音が発生する時があります。
- 日本国外では使用できません。各国の電波法に抵触する可能性があります。

**※誤った使用方法で発生するすべての事柄に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。**

## セット内容・各部名称



## 操作ボタン表

|                      |                         |                                |   |
|----------------------|-------------------------|--------------------------------|---|
| 全モード<br>共通           | TX (送信) /<br>RX (受信) 共通 | 音量アップ                          | 「+」ボタンを1回押し<br>もしくは長押し※1                      |
|                      |                         | 音量ダウン                          | 「-」ボタンを1回押し<br>もしくは長押し                        |
|                      | TX (送信) のみ              | Bluetoothデバイス検索                | 「M」ボタンを2回押し                                   |
|                      |                         | その他ペアリング候補の<br>Bluetoothデバイス表示 | 「>」または「<」長押し→<br>「>」「<」1回押しで選択<br>→「M」1回押しで確定 |
| BTモード<br>(Bluetooth) | RX (受信) のみ              | 再生 / 一時停止※2                    | 「M」ボタンを1回押し                                   |
|                      |                         | スキップ※2                         | 「>」ボタンを1回押し                                   |
|                      |                         | バック※2                          | 「<」ボタンを1回押し                                   |
|                      |                         | 発信※2                           | 「M」ボタンを2回押し                                   |
|                      |                         | 受話/終話※2                        | 「M」ボタンを1回押し                                   |
|                      |                         | 通話拒否※2                         | 「M」ボタンを長押し                                    |
| PCモード<br>(パソコン)      | TX (送信) のみ              | 再生 / 一時停止                      | 「M」ボタンを1回押し                                   |
|                      | RX (受信) のみ              | ミュート                           | 「M」ボタンを1回押し                                   |
| TFモード<br>(microSD)   | TX (送信) /<br>RX (受信) 共通 | 再生 / 一時停止                      | 「M」ボタンを1回押し                                   |
|                      |                         | スキップ                           | 「>」ボタンを1回押し                                   |
|                      |                         | バック                            | 「<」ボタンを1回押し                                   |
| AUXモード<br>(オーディオ)    | TX (送信) のみ              | ミュート                           | 「M」ボタンを1回押し                                   |

※1 PCモード以外で最大音量になった時、「ポロロン」とアラートが鳴ります。  
PCモードではアラートはなりません。

※2 スマートフォンに接続中のみ操作可能。

## 使用方法①基本操作

### 基本操作

■電源ON … 本機のUSB端子を、電源のとれるUSBポートに差し込むと、液晶ディスプレイに「Welcome」と表示されて電源が入ります。

■電源OFF … 電源のとれるUSBポートから本機を抜くと電源が切れます。



※付属のオーディオケーブルを使用し音源をとる際、音源元と同じ機器のUSBポートから電源を取らないでください。雑音が入る可能性があります。  
雑音が入る例) 音を飛ばしたいテレビのUSBポートで本機の電源をとる。

■音量アップ … 本機操作ボタン「+」を一回押し、もしくは長押しして音量が上がります。

■音量ダウン … 本機操作ボタン「-」を一回押し、もしくは長押しして音量が下がります。



音量調整時の画面

### ■送信・受信の切り替え

切替スイッチを「TX」に合わせると「送信」、「RX」に合わせると「受信」の状態になります。

#### ●本体天面



「RX (受信)」 ↔ 「TX (送信)」



※電源を切らずに切替スイッチをスライドさせても、送信・受信の切り替えはできません。一度本体を抜いて電源を切り、3秒経ってからモードを切替え、電源を入れ直してください。

### ■モード切り替え

TF (microSD) カード挿入時やオーディオケーブルで接続した機器など、複数の機器をご使用の場合、「M」ボタンを長押しするとモードを切り替えることができます。

・TX (送信) … AUX (オーディオケーブル) モード、PC (パソコン) モード、TF (microSDカード) モードの3種から選択できます。

・RX (受信) … BT (Bluetooth) モード、PC (パソコン) モード、TF (microSDカード) モードの3種から選択できます。

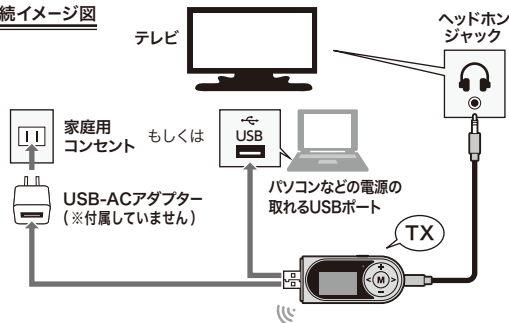


※オーディオケーブルケーブル、TF (microSD) カードが挿入されていない場合や、パソコンに差し込まれていない場合は選択することはできません。

テレビと接続して音声を送信する方法

本機を使用してBluetooth非対応のテレビ等の音声を、Bluetooth対応のスピーカーやヘッドホンに飛ばすことができます。

接続イメージ図



お手持ちのBluetooth対応のスピーカーやヘッドホン等へ  
テレビの音声を送信



(1)オーディオケーブルを接続

本機の切替スイッチを「TX」に合わせ、オーディオポートに付属のオーディオケーブルを接続し、もう片側をテレビのヘッドホンジャックに接続します。

(2)Bluetooth送受信機の電源ON

本機のキャップを外し、電源のとれるUSBポートに差し込んで電源を取ります。

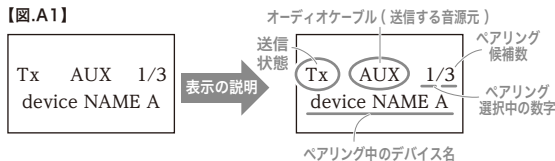
※お手持ちのUSBアダプターを差し込んだ家庭用コンセントや、通電しているパソコンのUSBポートなどから電源を取ってください。

❗ **※テレビのUSBポートからは電源を取らないでください。**  
音源元と同じ機器のUSBポートから電源を取ると**雑音が入る可能性**があります。

テレビと接続して音声を送信する方法(つづき)

(3)本機とBluetooth対応のスピーカー(ヘッドホン等)をペアリング

Bluetooth対応のスピーカー(ヘッドホン等)の電源を入れ、本機に近付けてペアリングさせます。ペアリングすると液晶ディスプレイに接続先の「デバイス名」が表示され【図.A1】、音声が流れ出します。



※ペアリング中のデバイス名に英数字以外の文字が含まれている場合、「Paired」と表示されます。

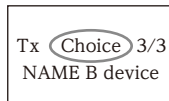
【図.A2】



❗ ※ペアリングさせる際、間に他のBluetooth機器があると、他の機器とペアリングする可能性があります。その際は、つなげたいデバイス名を選択してペアリングしてください。

(4)ペアリングされているデバイスを変更

ペアリング候補に上がっているデバイスを選択し直したい時は、本機操作ボタン「>」もしくは「<」を長押しすると「Choice」と表記されるので「>」もしくは「<」でペアリングしたいデバイス名を選択してください。【右図】  
選択肢に表示されない場合は、「M」を2回押しして、デバイスを再検索してください。



❗ ※マルチペアリング不可

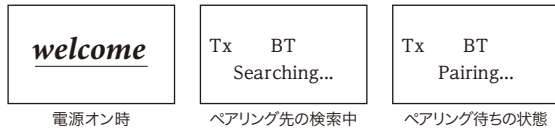
1台のBluetooth送受信機に対してペアリングできる機器は1台までです。

テレビ音声の送信について ～受信機・テレビ両方から音声を出す方法～

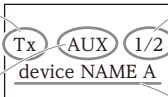
テレビの音声を本機から送信する際、テレビ本体と受信機(ヘッドホン、スピーカーなど)両方から音声を出力したい場合は、テレビ側の設定で変更してください。変更方法は使用しているテレビによって異なりますので、テレビ側の取扱説明書をお読みください。

## 使用方法②送信 ～液晶ディスプレイ～

### 液晶ディスプレイ 送信(TX)時の表示内容の説明



～画面上左～  
【Tx】送信



～画面上右～  
【●/■】どちらも数字  
■ペアリング候補数  
●ペアリング選択中の数字

～画面上中～

- ①ペアリング先の検索中  
【BT】Bluetooth
- ②ペアリング中  
送信する音源元が表示されます。  
【AUX】オーディオケーブル  
【TF】TF(MicroSD)カード  
【PC】パソコン
- ③ペアリング先の選択時  
【Choice】  
ペアリング候補から選択できる状態。

～画面下～

- ①ペアリング前  
【Searching...】ペアリング先の検索中。  
【Pairing...】ペアリング待ちの状態。
- ②ペアリング中  
【デバイス名】  
ペアリング先のデバイス名の表示。  
【Paired】  
ペアリング先のデバイス名に英数字以外の文字が含まれている場合の表示。

## 使用方法②送信 ～テレビ以外の音を送信～

### テレビ以外の機器とのペアリングの仕方 送信

本機を使用してBluetooth非対応の音楽プレーヤー等の音を、Bluetooth対応のスピーカーやヘッドホンに飛ばすことができます。



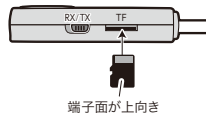
まず、本機の切替スイッチを「TX」に合わせ、Bluetooth対応のスピーカー（ヘッドホン等）の電源を入れてペアリングモードにします。

### ■オーディオモード【AUX】

付属のオーディオケーブルを、本機とBluetooth非対応の音楽プレーヤー等のヘッドホンジャックに差し込み、本機のキャップを外して電源のとれるUSBポートに差し込んで電源を入れます。機器同士を近づけて、しばらくすると自動でペアリングされます。ペアリングが完了すると液晶ディスプレイの上の真ん中の表示が【AUX】になります。

### ■TF(microSD)カードモード【TF】

本機にmicroSDカードをTF(microSD)カードポートに差し込みます。microSDカードの向きに注意してください。端子面が上向きです。【右図】本機のキャップを外して電源のとれるUSBポートに差し込んで電源を取ります。機器同士を近づけて、しばらくすると自動でペアリングされます。ペアリングが完了すると液晶ディスプレイの上の真ん中の表示が【TF】になります。



### ■パソコンモード【PC】

本機をお手持ちのパソコンのUSBポートに差し込むことによって、パソコンの音声を送信することができます。通電した状態のパソコンのUSBポートに本機を差し込んで電源を取ります。機器同士を近づけて、しばらくすると自動でペアリングされます。ペアリングが完了すると液晶ディスプレイの上の真ん中の表示が【PC】になります。

※自動でペアリングされない場合は、「M」ボタンを2回押ししてペアリング先を再検索の状態にして、しばらくお待ちください。



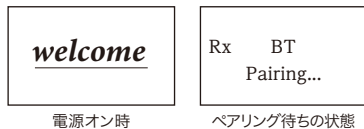
※ペアリングさせる際、間に他のBluetooth機器があると、他の機器とペアリングする可能性があります。その際は、つなげたいデバイス名を選択してペアリングしてください。

詳細はP.7の(4)ペアリングされているデバイスを変更を参照。

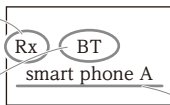
※接続先のパソコンによってはPCモードにならないものもございます。

## 使用方法③ 受信 ～ 液晶ディスプレイ ～

### 液晶ディスプレイ 受信(RX)時の表示内容の説明



～ 画面上左 ～  
【 Rx 】受信



～ 画面上中 ～

流れる音源元が表示されます。

- ①ペアリング前・ペアリング中  
【 BT 】Bluetooth  
(スマートフォンなど)
- ②TF(microSD)カード挿入中  
【 TF 】TF(MicroSD)カード
- ③パソコンのUSBポート接続中  
【 PC 】パソコン

～ 画面下 ～

- ①ペアリング前  
【 Pairing... 】ペアリング待ちの状態  
※【TF】【PC】モード時も、スマートフォンなどとペアリングされていない状態であれば表示されます。
- ②ペアリング中  
【 デバイス名 】  
ペアリング先のデバイス名の表示。  
【 Paired 】  
ペアリング先のデバイス名に英数字以外の文字が含まれている場合の表示。  
※【TF】【PC】モード時も、スマートフォンなどとペアリングされている状態であれば【デバイス名】もしくは【Paired】が表示されます。
- ③【TF】時  
【 0000/0000 】  
再生中の曲番/全曲数が表示。  
【 曲名 】  
上記の表示後、再生中の曲名が表示されます。

## 使用方法③ 受信 ～ Bluetooth対応機器の音を受信 ～

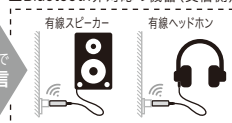
### ペアリングの仕方 受信

本機を使用してBluetooth非対応のスピーカーやヘッドホン等に、Bluetooth対応機器の音を受け取らせることができます。

#### ■Bluetooth対応の機器(送信側)



#### ■Bluetooth非対応の機器(受信側)



#### (1)オーディオケーブルを接続

本機の切替スイッチを「RX」に合わせ、付属のオーディオケーブルを本機とBluetooth非対応のスピーカー(ヘッドホン等)のヘッドホンジャックに差し込み、本機のキャップを外して電源のとれるUSBポートに差し込んで電源を入れます。

#### (2)デバイス名「LITHON TR-10」を選択して登録

ペアリングしたい機器から本機を検索します。  
検索方法はご使用の機器によって異なります。ご使用の機器の取扱説明書などをお読みください。  
ペアリングしたい機器から本機が見つかったら、デバイス名「LITHON TR-10」が検索画面上に表示されるので、選択して登録します。  
ペアリングが完了すると、液晶ディスプレイの下の表示がペアリングした機器の【デバイス名】もしくは【Paired】になります。

#### デバイス検索について

本機を「RX(受信)」で使用し、「M」ボタンを2回押してもデバイス検索はできません。他のBluetoothデバイスと接続する場合、接続中のBluetoothデバイス側で接続を解除してからおこなってください。

### 使用方法③ 受信 ～ 通話～

#### 通話について

本機を「RX(受信)」で使用してスマートフォンとペアリングさせると、ハンズフリーで通話することができます。

<着信の場合> 着信があった場合、着信音が流れます。「M」ボタンを一度押すと電話にすることができます。もう一度押すと通話を切ります。また着信中に1～2秒長押しすると通話を拒否することができます。

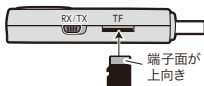
<発信の場合> 本機の「M」ボタンを2回連続して押すと、直前に着信もしくは発信した相手に電話をかけることができます。

- 通話機能が使えるのはBluetooth接続時に限ります。
- 通話をする際、双方ともBluetooth機器で通話をするると雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。
- ご使用の機器によっては、本機の操作での発信・着信した電話に出ることができない場合があります。その場合は、ペアリングした機器を操作してください。また、アプリを利用しての通話はできない場合があります。

### 使用方法④ その他 ～ Bluetoothを使用しない接続方法～

#### TF(microSD)カードモード【TF】

本機にmicroSDカードをTF(microSD)カードポートに差し込みます。microSDカードの向きに注意してください。端子面が上向きです。【右図】本機のキャップを外して切替スイッチを「RX」に合わせ、電源のとれるUSBポートに差し込んで電源を取ります。付属のオーディオケーブルで接続したスピーカーやヘッドホン等から音を流すことができます。音楽の再生など、操作方はP.4【操作ボタン表】を参照。



### 故障かな?と思ったら

- 映像の音声が遅れて聞こえる
  - ・Bluetoothの特性上、映像に対して音声が多少遅れて聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 音量が小さい
  - ・接続機器側の音量を確認してください。使用環境によっては音量が小さく出力される場合がございます。
- 本機の電源が入らない
  - ・本機がしっかりと電源を供給できるUSBポートに差し込まれているかどうか、確認してください。
- ペアリングができない
  - ・接続先のBluetooth機能がペアリング可能な状態であることを確認してください。一般にスマートフォンやパソコンなど接続する側の設定で、機能を有効にする必要があります。接続する機器の設定を確認してください。
  - ・別の機器とペアリングされている可能性があります。接続を解除してからお試しください。
  - ・約2分30秒経ってもペアリングができない場合は、Bluetooth送信機を電源から抜き、送信先のスピーカー(ヘッドホン等)の電源を切って、もう一度ペアリングし直してください。
- 接続後に本機がきちんと動作しない
  - ・本機および接続したスマートフォンやパソコン等の機器が、該当するBluetooth機能を搭載しているか確認してください。(Bluetoothのバージョンや対応しているプロファイルなど)
- いつも再接続していたのに突然再接続されなくなった
  - ・スマートフォンやパソコン等の接続する機器によっては繰り返し再接続している間に、登録情報が失われ、自動で再接続できなくなることがあります。本機および接続機器の電源を入れ直さず、再度ペアリングをおこなってください。
- ノイズやエコー音が入る
  - ・ペアリングの機器との距離を変えてみてください。
  - ・音源元と同じ機器のUSBポートから電源を取っている場合、他に電源の取れるUSBポートから電源を取ってください。
- スマートフォン等で動画音声が聴こえない
  - ・スマートフォン等の仕様により、ダウンロードしたプロモーションビデオなどの音声がBluetoothでは視聴できません。また、デジタル著作権保護のため、本機では再生できない場合があります。
- BluetoothキーボードやBluetoothマウスなど、他のBluetooth機器を使用すると本機からの音声が途切れる
  - ・Bluetooth機器の混信、ノイズにより稀に音声が途切れる場合があります。
- 片側からしか音が出ない
  - ・オーディオケーブルが根元まで差さっているか確認してください。
- 本機はステレオです
  - ・モノラルタイプの場合は片方からしか音が出ない場合があります。

## テクニカルデータ

| Bluetooth |                                     |
|-----------|-------------------------------------|
| バージョン     | Bluetooth標準規格 Ver.5.1、class2        |
| 検索デバイス名   | LITHON TR-10                        |
| 伝送距離      | 最大約10m ※使用状況・環境条件により異なることがあります      |
| 使用周波数帯域   | 2.4GHz帯（2.402GHz～2.480GHz）          |
| 対応プロファイル  | 送信時(TX):A2DP 受信時(RX):A2DP、AVRCP、HFP |
| 同時接続台数    | 1台                                  |
| その他       |                                     |
| 電源        | USB電源                               |
| 接続        | 3.5mmイヤホンジャック入出力                    |
| 外形寸法      | 約W82×D13.5×H29.5mm                  |
| 質量        | 約20g                                |
| 付属        | オーディオケーブルφ3.5mm                     |

※通信距離は、間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって、通信距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

※全てのBluetooth機器との接続を保証するものではありません。ご使用の機器によっては接続できない場合があります。予めご了承ください。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

## 保証書

(キリトリ)

### 保証書

本書は保証期間内に本書記載内容で無料保証をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービスセンターにご依頼ください。

※この保証書は販売店様の日付けの入ったレシートまたは領収書がなければ無効となります。

| 製品コード   | KABT-010 | 製品名  | Bluetooth送受信機 TR-10 |
|---------|----------|------|---------------------|
| ※お買い上げ日 | 年 月 日    | 保証期間 | お買い上げ日より：半年間        |
| お客様     | お名前      |      |                     |
|         | ご住所 〒    |      |                     |
|         | 電話番号     |      |                     |
| ※販売店    | 住所・店名    |      |                     |
|         | 電話番号     |      |                     |

店舗印

当製品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は、修理・交換後の製品発送のみ使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供することは一切ございません。

**販売店さまへ** ※印欄は必ず記入（もしくは押印）してください。

### 保証規定

- 保証期間内に取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料保証いたします。弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内に故障した場合には、製品と本書をご持参・ご提示の上、弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内でも次の場合には保証対象外となります。
  - 弊社「お客様サービスセンター」以外による分解・修理及び改造をおこなった場合
  - お客様の過失・不注意（使用上の誤り、製品をぶついたり落下等による強い衝撃を与えるなど）による故障及び損傷
  - 取扱説明書に記載されている消耗部品が自然摩耗または自然劣化していることに起因して故障が発生した場合。
  - 火災・地震・その他の天災事変による故障及び損傷
  - 本書の提示がない場合
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
  - 他人へ譲渡した場合
  - 正規販売ルート以外で購入した場合
- レンタルなどによる貸し出し、オークション等による転売・中古販売、及び譲渡によって発生した故障・損傷・劣化・損害・事故などに対して一切の責任を負いかねます。ご了承ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効となります。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

発売元 **ライソン株式会社**  
〒577-0034 大阪府東大阪市御厨南2-1-33

WEBからの修理・交換の  
お問い合わせはこちら

お客様 **TEL 06-6789-1199**  
サービスセンター 【月～金(祝日除く)10時～16時】

(キリトリ)

